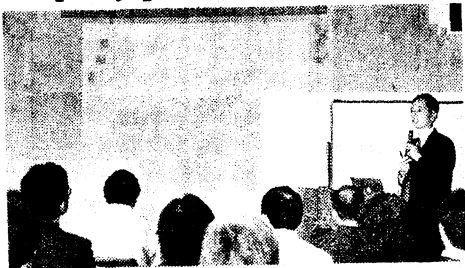


## 喜界島の最大級ハマサンゴ 「世界的に貴重」



喜界で見つかった巨大ハマサンゴを説明する横山祐典准教授＝9日、鹿児島市のかごしま環境未来館

喜界島など世界各地でサンゴのサンブルを採取し、気候変動の仕

組みを研究している東京大学大気海洋研究所の横山祐典准教授(40)

の講演会が9日、鹿児島市のかごしま環境未来館であった。喜界島の沖合2カ所で400年近く生きている日本最大級のハマサンゴを発見した横山准教授は「世界的に貴重」と強調した。

2009、10年にハマサンゴを見つけた横山准教授は、気候変動に関する政府間パネル報告書に反映させようとして解析を続ける。講演では、気象データの解析法などを紹介。「ハマサンゴは遺伝子的な強さも興味深く、分子生物学的な研究にもつなげたい」と話した。